

12/16 生田目翼選手と交流

今季のドラフト会議で北海道日本ハムファイターズから第3位指名され、入団した生田目翼投手（本市石沢出身）が自身の出身チームでもある常陸大宮リトルリーグを訪問し、子ども達とキャッチボールや質問コーナーなどで交流をしました。子ども達から「どんな練習をしていましたか」の質問に、「バッティングの練習をしていました。投げるときは、絶対に打たせないぞという気持ちで投げていました」と懐かしそうに当時は振り返っていました。最後に「1軍でデビューできるように頑張ります!」と今後の目標を話していました。



▲みんなで記念撮影

12/20 在宅医療・介護連携推進事業

おおみやコミュニティセンターで、医療職、介護職、消防職、民生委員など77人が参加し、地域ケア会議を行いました。今年度は「在宅医療と介護連携の推進」をメインテーマに、在宅医療における薬剤師の役割について、おせ薬局の鈴木康生先生の講話とグループワークを実施しました。参加者からは「薬局の薬剤師さんが自宅に訪問してくれるとは知らなかった」「錠剤をつぶして飲むことが危険だとは知らなかった」など新たな発見が多かったとの意見がありました。いただいた意見をもとに本市の政策形成につなげることを目指します。



▲鈴木先生による講話

1/5 美和地域スキー教室

美和地域スキー教室が福島県の会津高原だいくらスキー場で開催されました。当日は、天候にも恵まれ、小学生を中心に38人が参加し、初心者から経験者が班に分かれ美和スキースノーボードクラブ会員によるスキー指導が行われました。また、スキーのレベルを検定するスキージュニアテストも開催され、7人の小学生がチャレンジし、全員が目標級に合格することができました。参加者は普段できない自然の中でのスキー体験を満喫していました。



▲みんなで記念撮影!

12/23 常陸大宮吹奏楽団定期演奏会

平成30年度市文化祭のフィナーレを飾る第27回定期演奏会が開催されました。日々の練習の成果を発揮した迫力ある演奏や楽しい演出に会場が一体となりました。

今回は、第二中学校出身であり日本の吹奏楽会を牽引し続ける萩谷克己さんをお迎えし、団員をはじめ市内中学生もレベルの高い専門的な指導をしていただきました。また、コーラスグループとの共演や高校生会の協力もあり、地域との架け橋になる素敵な演奏会になりました。



▲素晴らしい指導をいただきました

移動市長室

1/10・16

平成30年度の移動市長室を市内の県立高校2校で実施しました。移動市長室は市民の皆さんのご意見等を聞くため毎年実施しており、これまでは各地域に出向いて行ってきましたが、若者の意見を市政に反映させようと、本年度初めて高校で実施したものです。小瀬高校、常陸大宮高校では、それぞれの生徒代表から、本市の現状として良いところや足りないと思うところ、今後のまちづくりについての数多くのご意見やご質問、ご要望をいただきました。



【小瀬高校での様子】

3年生全員と2年生の1クラスの生徒が参加し、代表で3人が発言しました。「各地域にある施設をもっと整備し、SNS等を使って宣伝した方がよい」「会員制のクラブを作り会報誌などを作って宣伝してはどうか」「住みやすいが活気が無いので何か必要だと思う」「携帯電話の電波が弱いところがあるので良くして欲しい」などの意見・要望が出されました。

【常陸大宮高校での様子】

普通科、機械科、情報技術科、商業科を代表して2年生7人が出席しました。「道路をもっと整備して欲しい」「街灯が少ない」「道の駅のイベント等のアピールをもっとしたほうが良い」などの意見が出されたほか、商業科の生徒からは「常陸大宮高校の生徒が作っているブルーベリーを使った商品を市全体でPRして貰えれば」などの要望が出されました。

1/12 久慈岡ワーホイ

久慈岡地区でワーホイ行事が開催されました。この行事は、地域の皆さんと一緒に小正月を楽しむことを目的に9年前に復活しました。

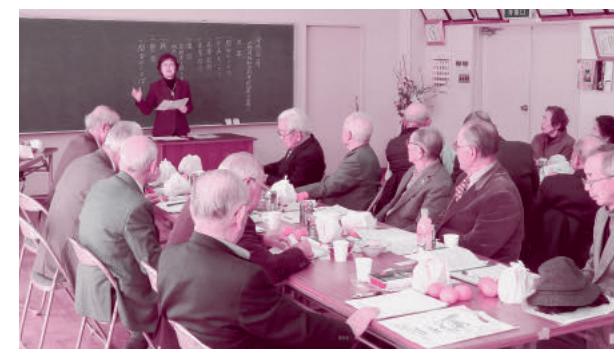
お正月のしめ飾りや門松などを持ちよって焼くどんど焼きと、害鳥を払う鳥追いを合わせて行われています。どんど焼きの煙が高く上るほど豊作になる、煙を懐に入れると厄払い、焼いた書初めが天高く舞い上がると文字が上手になると言われているそうです。



▲勢いよく火が燃え上がりました

1/18 まちづくり講座

まちづくり講座メニューの1つである、高齢者を狙う悪質商法と対処法が、山方公民館西野内分館で行われました。茨城県消費者教育講師の松本由美子さんが、実際に起こりうる悪質商法を受講者と役を演じながら疑似体験を行い、対処法について説明していました。受講者からは「大変参考になった」「今後気を付けていきたい」という声が多く聞かれました。まちづくり講座は、市職員等が市内の公民館や集会所などに出席して開催します。受講料も無料です。是非ご活用ください。



▲熱心に聞き入る皆さん

第65回文化財防火デー

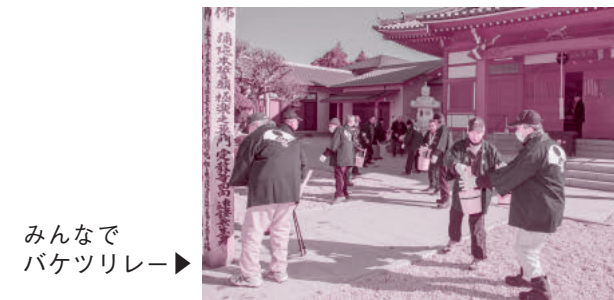
毎年1月26日は文化財防火デーです。
昭和24年1月26日、法隆寺金堂の壁画が焼損する火災が起きました。これを機に火災があった1月26日が文化財防火デーと定められました。そして毎年この日の前後に全国的な文化財防火運動が展開されています。

本市でも、1月23日に上岩瀬の誕生寺で消防訓練を行いました。お寺関係者、隣接するさくら保育園、東消防署、教育委員会の合同訓練となりました。誕生寺は、浄土宗中興の祖である了誉聖岡上人の誕生の地です。寺宝として了誉聖岡上人像が2体あり、うち1体が市の指定文化財となっています。聖岡上人は全国的にも広く知られた名僧で、今年は上人の600回忌ということもあり、誕生寺はもちろん各地で法要が予定されています。

このような地域にとってとても大切なお寺を災害から守るため、住職や檀家の皆さんがバケツリレーの練習や文化財を運び出す訓練、消火器の取扱訓練等、力を合わせて行いました。消防による神社への放水訓練も行われ、迫力のある放水に歓声が上がっていました。



◀文化財も避難訓練



みんなでバケツリレー▶



▲消火器の使い方を確認

また、1月24・25日には、教育委員会と消防署が合同で市内40か所の文化財所有・管理者を訪問し、消防設備の点検や防災指導を実施しました。

火災は、数百年の間地域で守られてきた宝を一瞬で奪ってしまいます。今回の訓練や設備点検は、身近にある貴重な文化財の存在を再確認し、もしもの時にも対応できるように備える機会となりました。皆さんの身近にも多くの貴重な文化財があります。国民共通の貴重な財産を火災等から守るため、今後も市民の皆さんのご協力をよろしくお願いします。



▲上人坐像

了誉聖岡上人
～額に二十六夜の三日月形のある伝説の僧～
了誉聖岡上人。“六夜尊（ロクヤサン）”のこと、と聞いて納得される方は、少ないかもしれませんが、最も世間に影響を与えた本市ゆかりの人物、と言っても過言ではありません。

現在、上岩瀬の誕生寺が建つ地には、かつて上岩瀬城があり、聖岡上人はその城主白石氏の子として南北朝時代の1341年に生まれました。父の死によって家が没落し、8歳で出家。たぐいまれな能力と驚異的な向学心で、仏教のみならず様々な学問を修めます。

当時浄土宗は、法然の死後に諸派が林立し、独立した一宗としての地位を確立していませんでしたが、聖岡上人が浄土教義を整備し地位向上を実現したことで、浄土宗教団の地位を確立することができました。上人が浄土宗中興の祖と言われる所以です。

偉大な功績によって神格化された聖岡上人には、多くの伝説が残されています。中でも有名なものが、額にある三日月形の相から放った光で書物を照らし、闇夜でも勉強に励んだとされる話です。誕生寺の上人像の額にも三日月が表現されています。

また、有名な怪談「番町皿屋敷」には、お菊の霊を鎮める僧として聖岡上人が登場。それほどに上人は人々に慕われた高僧の代表でしたが、江戸時代中期以降の教団で聖岡教学見直しの風潮がおこり、時代とともに忘れられていきました。しかし、宗教界のみならず、人々の信仰に大きな影響を与えた了誉聖岡上人の功績は大きく、上人が没した1420年からちょうど600年にあたる本年、郷土の偉人として、その功績を知っていただく機会となればと思います。

1/26

お宝発見

市のお宝発見事業第5回を、22人の参加のもと実施しました。

午前は「塩田そばの会」の皆さんにご協力いただき、市内で生産されている常陸秋そばのそば粉を使ってそば打ちを体験しました。最初に講師の方のそば打ち実演を見学し、その後、2～3人のグループに分かれて実際にそば打ちを行いました。



午後は御前山ダムに向かい、ダム関係者の方からダムの仕組みについての説明を受けた後、実際にダム内部に入り見学を行いました。普段な

かなか見られない光景に驚いている様子がうかがえました。

今回も参加者たちは、周りの仲間やボランティアの茨城大学生と協力して、市内の誇れるものを学ぶことができました。

ボランティアの声



私は今回お宝発見事業に初めて参加しました。子どもと一緒に楽しく常陸大宮市の名物、名所について学ぶことができ、非常に有意義な時間となりました。機会があればまた是非参加したいです。

茨城大学2年 子どもふれあい隊 黒畑 晴喜



みんなのスポーツ・エクササイズ⑩



ノルディックウォーキングの二の腕引き締め効果に期待！

ノルディックウォーキングは、近年国内で人気が高まりつつあるエクササイズスポーツで、2本のポール（ストック）を使って歩行運動を補助し、運動効果をより増強することが特徴です。もとは、クロスカントリーの選手が、夏の間の体力維持・強化トレーニングとして、ストックと靴で積雪のない山野を歩き回ったのが始まりと言われています。

本市内では、ノルディックウォーキング練習会（スポーツクラブひたまる25）が月2回のペースで開催されています。

参加者からは、「ポールを使うことで膝への負担が軽減され、長い距離をウォーキングできる」「ポールを使うことで二の腕（上腕二頭筋）の筋肉が鍛えられ、腕が引き締まる効果が期待できそう」などの声が寄せられています。

用具も初心者向けのものは低価格で購入できるため、気軽に始めることができます。ぜひ挑戦してみてください。



＜ノルディックウォーキング練習会情報＞

皆さんの参加をお待ちしています。

期 日：3月2日（土）、3月16日（土）

時 間：午前9時（2時間程度）

場 所：大宮運動公園駐車場集合

参加料：無料

その他：ポール、汗拭きタオル、飲み物をご持参ください（ポール貸出しあり）。



■問い合わせ■

スポーツクラブひたまる25 ☎55 - 9666 FAX 55 - 9667
（電話対応時間：火曜・金曜 午後1時～午後5時）